



現代日本語反語の専用形式：

「たまるか」「ものか」「(人名詞)があるか」

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00002718

現代日本語反語の専用形式

— 「たまるか」「ものか」「(人名詞)があるか」 —

案 野 香 子

1. はじめに

従来、反語の研究は古代語から近現代語にかけて広くなされてきた。現代語における反語の定義は研究者により多く唱えられているが(阪倉1975, 山口1990, 仁田1991, 安達1999, 小松2001ほか), その中で仁田(1991: 150)は「疑問表現の文形式の表す肯定事態・否定事態とは逆の事態を強く主張し, 更にそれへの確認・同意を聞き手に求める意味合いを含みうる文」と定義する(下線引用者)。本稿で扱う反語文のように、「聞き手に同意・確認を求める」とはいえない反語もあることからこの定義に全面的に首肯することはできないが、いくつか出されている定義の中で、仁田の下線部は最大公約数的意義があるため、便宜的に本稿では上記下線部分に従いたいと思う。また、反語文か疑問文かはイントネーションや文脈で決まることがあるが、しかし、一方で、どんなときにでも疑問文との「揺れ」がなく、その文では反語にしか解釈されない文を構成する文末マーカーがある。それが「動詞テたまるか」(以下「たまるか」), 「名詞ナ／イ形容詞／ナ形容詞ナ／動詞ルものか」(以下「ものか」), 「(人物名詞) +があるか」の三形式で、本稿ではこれを「反語の専用形式」と呼ぶ。例えば次のように用いられる。

- (1) 負けてたまるか。
- (2) こんなところで死ぬもんか。
- (3) いつまでも泣いてる奴があるか。

また、「たまるか」「ものか」は次のように相互承接する。

(4) 落第なんかしてたまるものか。

これらは「たまるか」「ものか」の順番で相互承接し、逆行することはない。

本稿では、「たまるか」「ものか」「たまるものか」の三形式および、「人物名詞＋があるか」の形式のそれぞれの文法的、意味的な特徴を考察し、記述する。

研究方法としては、「たまるか」「ものか」「たまるものか」を文末に持つ文（前後の文脈を含む）を、小説、ライトノベル、漫画、シナリオ、雑誌、現代日本語書き言葉均衡コーパス『中納言』から収集し、分析、記述を行った。出現数は「たまるか」198例、「ものか（「もんか」含む）」1,081例、「たまるものか（「たまるもんか」含む）」56例の合計1,335例であった。

2. 先行研究

「たまるか」は反語を表すことは自明であるにもかかわらず、管見では反語としての「たまるか」に関する研究は見つけられなかった。反語と感嘆は密接な関係にあることは山口（1990）でも既に指摘されている通りであるが、小松（2001）は「たまるか」は「疑問表現で感動を表現する」（小松2001：197）とし、次の例を挙げる。

(5) 勝手なことをされてたまるか, たまらないよ。（小松2001：197）

つまり、上のような例を出している一方で、「たまるか」を反語表現の文末マーカーストは認めていないのである。小松（2001：668）は反語を「話し手と同じ判断を聞き手に要求する表現」としており、(5)の場合は、文意が話し手自身に伝達されていることから、反語ではなく、疑問表現で感動を表す表し方の一つとされているとする。(5)がなぜ感動になるのか、小松（2001）では反語表現の文末マーカーストがな

ぜ「か」しか認められていないのか、ここでは全く議論がなされていない。

「たまるか」に比べると、より一層使用例が多いため、反語の専用形式では「ものか」に関する資料が多い（山口1990, グループ・ジャマシイ1998, 小松2001, 安達2004, 山口2004, 森山2005）。ただし、反語の専用形式であることが明らかであるためか、「強く否定する気持ちを表す」（グループ・ジャマシイ1998：593）、「問いかけ性を失っており〈反語解釈〉が固定化した形式として位置づけられる」（安達2004：237）、「ものかは反語の定型」（森山2005：53）のように簡潔にまとめられてしまう。構文的な特徴や、意味の特徴が緻密に記述されているとはいえ、中には山口（2004）のように「ものか」が反語を表す理由の考察を試みた研究もあるが、やはりそこでも明確な結論は出されてはいない。

「たまるものか」は、『大辞林』（小学館）では「（動詞の連用形に接続助詞「て」の付いた形を受けて）そのようなことが起こるはずがない。そのような状態のままにしておくわけにはいかない。」という説明とともに以下の例が挙げられている。

- (6) 幽霊などいてたまるものか。
- (7) へこたれてたまるものか。

これ以外の先行研究は管見ではない。したがって、相互承接した形式である「たまるものか」が「たまるか」「ものか」とどう意味的、機能的に異なるのか、という記述もなされていないと言える。

最後に「（人物名詞）+があるか」であるが、これも反語の専用形式のひとつの形態として研究された例はないようである。

いずれにせよ、先行研究では「たまるか」「ものか」「たまるものか」は漠然と詠嘆マーカー、反語マーカーとして認められているだけで、三形式の意味的、文法的違いはほとんど全く記述されていない。さらには、「たまるか」「ものか」が相互承接しうることにも触れられてい

ない。

以下、それぞれの形式について記述を試みる。

3. 考察

3.1 「たまるか」

「たまるか」は命題の述語動詞のテ形に接続する。次の例(8)のように、受け身動詞テ形に接続する例が、198例中79例(40%)あった。この数は圧倒的多数とは言えないが、全体に占める割合としては捨て置けないものと思われる。

ではどのような場合に、受け身動詞テ形に接続するのか。

- (8) ママ 「まんがはぜんぶすてます!!」
 [ドラえもん, のび太を呼びに行く]
 のび太 「ママひどい!!」
 ドラえもん 「いそがないとまにあわないよ。」
 のび太 「あっ! もうちり紙こうかんにだしてる!!」
 「すてられてたまるか!!」 [道具を操作する]
 [ズシン マンガの束が急に重くなる]
 ちり紙交換屋 「おもい!! おくさん, こんなものいらない。」
 (藤子F不二雄『ドラえもん』)

上の例(8)「すてられてたまるか!!」は、その前に発話される「ママ」の「まんがはぜんぶすてます!!」を受けての発話である。このように、受け身動詞テ形に「たまるか」が接続するのは、聞き手(二人称)が話し手(一人称)にとって不快或いは迷惑な行為をとったとき、それを阻止しようとする場合である。

いわゆる迷惑受身のみならず「たまるか」が接続するかというと、必ずしもそうではない。

- (9) 雨に降られる。(自動詞の迷惑受身)

- (10) ?? 雨に降られてたまるか。
- (11) 親に死なれる。(自動詞の迷惑受身)
- (12) 今ここで親に死なれてたまるか。

上記 (9) (11) は自動詞が受身形となった場合の迷惑受身であるが、(9) は「たまるか」の文とするとなんとなく不自然である。また、間接受身が迷惑受身を表すと言われているが (日本語教育学会2005)、それも検証に値する。

- (13) カラスにゴミを荒らされた。(間接受身文)
- (14) カラスにゴミを荒らされてたまるか。
- (15) 子供が犬にかまれた (直接受身文)
- (16) うちの子供が犬にかまれてたまるか。
- (17) ビールは麦から作られる。(直接受身文)
- (18) ワインが麦から作られてたまるか。

つまり、間接受身文による迷惑受身だけでなく、直接受身文も「たまるか」の文に埋め込むことができる。いわゆる迷惑受身文だけが「たまるか」文に出現し、全体で迷惑を表すというわけではないということがわかる。

なぜ (9) の「雨に降られる」は「たまるか」文になりにくいかというと、「雨が降る」コトは自然現象であり、拒否すること、阻止することが不可能であるからであろう。(12) の「親が死ぬ」こともある意味不可抗力であるが、親に対して「あともう少しこらえてほしい、耐えてほしい」と延命治療などを施すことができる。不幸をある程度阻止することができるのである。

以上でわかるのは、「たまるか」文は、抵抗可能なことに対して迷惑に感じたり不信感を感じたりしたことについて、拒否したり阻止したりしようとする話し手の意思の表れであるということである。

ほかの例も見よう。

- (19) [バスケットの試合。流川は桜木のライバル]
 晴子「流川君!!」
 彩子「ホーラ 気合入ってる!!」
 桜木[心内発話]「野郎!!」「ハルコさんの前でヤツにいいかっ
 こされてたまるか!!」「負けずぎらいかなんかしらねー
 が!! オレだって負けずぎらいさじゃ負けねーぞ!?」
 (井上雄彦『SLAM DUNK』)

(19) は話し手が懂れている「晴子」の前で「ヤツ」(強烈なライバルの流川)にいい格好をされることが迷惑でそれを話し手は不本意に思い、阻止しようとしている。換言すれば、話し手が相手の行動を阻止することは可能だという自信をもっていることが読み取れる。

ところで、ここで話し手が迷惑や不快に思っているのは「いい恰好をする」といった「たまるか」の直前の表現内容ではない。「たまるか」の反語の否定的スコープは直前の動詞というより、命題全体に及ぶ。つまりここでは「ハルコさんの前でヤツにいいかっこされる」コトという命題が話し手にとって迷惑なのである。

「たまるか」は動詞述語のテ形に接続する。更に心理的に不快で、しかし抵抗可能な事態に話し手の否定対極の主張やあってはならないことだ、という迷惑を阻止する或いは拒否する意味合いを加える用法がある。

上記の議論は、動詞が受身形でない他の例にも応用できる。

- (20) [行動を開始した仏軍や米軍に触発されたどこかの軍人の会話]
 「我々はどうしますか」
 「バカもの!我々も後れをとるな!他国にインディアンの
 儀式の秘密を渡してたまるか!」
 (皆川亮二・たかしげ宙『スプリガン』)

- (21) ドラえもん「しょうがないな。ばかなこといってないで、

家にかえろ。」

のび太「ほっといてくれ。ぼくの気もちがきみなんかにかかってたまるか。」

(藤子F不二雄『ドラえもん』)

(20) は「他国にインディアンの儀式の秘密を渡す」コトが話し手の不本意なことで、それを「たまるか」で阻止しようとする文意である。

(21) は「ぼく(話し手)の気もちがきみ(聞き手)にわかる」コトは望ましいことではあるが、直前の「ほっといてくれ。」の文脈的助けもあり、且つ文末に「たまるか」があることによって、実は話し手にとっては積極的に望んではおらず、求めていることを表している。

以上のことをまとめると、「たまるか」は反語マーカーであり、その特徴として、抵抗可能でしかも迷惑、不本意、不快なことを示す命題のテ形に接続し、そのことを話し手が阻止したり、拒絶したりする文を構成する単位であると言える。

3.2 「ものか」

「ものか」は、名詞、イ形容詞、ナ形容詞、動詞ル形(補助動詞含む)に接続する。収集した例の中ではモダリティ形式の中で唯一「～ていい」に接続する。また、「ものか」文のもう一つの特徴として、「～てなるものか」の形態になる。これは「か」を文末に持つ真偽疑問形式文の反語文には現れない。少なくとも管見ではなかった現象である。

(22) おくれをとってなるものか。

(23) ?おくれをとってなるか。

「たまるか」と違ってのは、慣用句に接続する機会が多いことである。

- (24) そうは問屋が卸すものか。
 (25) その手に乗るものか。
 (26) 万事ぬかりがあるものですか。

名詞，イ形容詞，ナ形容詞に接続した場合，「ものか」文は談話内での繰り返しとして用いられる。

- (27) 「シマリスちゃん，おっかねえのか？」
 (略)
 「おっかねえもんか」
 一四五センチの宇野は，一七〇センチの安永を，見上げるようにしてにらんだ。
 (宗田理『ぼくらの七日間戦争』)
- (28) 「こちらは火葬場だよ」
 と相手は，太い声だが，どこかキンキンした響をもつ調子で言った。
 (略)
 「失礼ね。火葬場なものですか。詰まらぬことは言わないで下さい」
 と言い返した。
 (松本清張『顔・白い闇』)

これらの品詞に接続した場合，「ものか」は聞き手に対して話し手の強い否定の主張を表すことになる。

一方，動詞に接続した場合は，「意志動詞ル形を述語に持つ命題+ものか」は「話し手の強い否定的意志」を，「無意志動詞ル形を述語に持つ命題+ものか」は「話し手の強い否定的確信」を表すと考えられる。意志動詞に接続する例は次の(29)(30)である。

- (29) ところで、彼が高校へ行かなかったのは、中学の終わりごろから気持ちがすさみ勉強を十分にしなかったからでした。両親を恨み、勉強してやるもんか、高校へ行ってやるもんかという気持ちだったそうです。

(大平健『診察室にきた赤ずきん』)

- (30) 泣くもんか、と私は思った。必死にこらえた。

(狗飼恭子『冷蔵庫を壊す』)

意志動詞といっても、「意志」を有するのは当事者である人物である。したがって次の(31)の場合は注意を要する。

- (31) のび太「きょうサケが川に帰ってくるからとりにいこうよ。」
 ジャイアン「バーカ！」
 スネ夫「あの川にサケなんかくるもんか。」
 のび太「ドラえもんがそういうんだもん。」

(藤子F不二雄『ドラえもん』)

動詞「くる(来る)」は単独では意志動詞であるが、「あの川にサケがくる」ことは話し手の意志ではない。従ってこの場合は「サケはこない」という話し手の強い否定的確信を表すことになる。次の(32)は無意志動詞「驚く」の「ものか」文である。

- (32) あいつがめったなことで驚いたりするものか。

(阿部公房『人間そっくり』)

この(32)も、話し手の強い否定的確信を表す。

ちなみに「たりする」は「～たりするものか」のように「ものか」文にしか現れない。「たまるか」文で「～たりしてたまるか」というような形態は管見ではなかった。このような点も「たまるか」文にはない「ものか」文の特徴である。

収集した用例の中に多くでてきた「わかるもんか」の「わかる」も無意志動詞であるため、話し手の否定的確信を表すと言える。

- (33) しずか「そうだ！出木杉さんにきいてみましょうよ。」
 のび太「えー!? あいつにだって、わかるもんか!!」
 しずか「出木杉さんにわからないことなんかないわ」
 (藤子F不二雄『ドラえもん』)
- (34) 「さてL Y Sか。例の『死にぎわの言葉』ってやつかな?」
 「何のことでしょう?」
 「分るもんか、大体死にかけてるやつは妙なことばかり考
 えるもんだ」
 (赤川次郎『三毛猫ホームズの追跡』)

(33) の「わかるもんか」は三人称について述べており、「わかるはずがない」という解釈が可能である。(34) の「分るもんか」は一人称について述べていると考えれば「知るもんか」という解釈ができ、一般論として「わからない」という解釈をすれば(33)と同様に「わかるはずがない」という意味に捉えられる。主語の人称によってニュアンスが若干異なってくるのである。

以上、「ものか」が意志動詞を述語とする命題に接続すると話し手の強い否定的意志を、無意志動詞を述語にする命題に接続すると話し手の強い否定的確信を表すことを述べた。

3.3 「たまるものか」

本稿でとりあげた「たまるか」「ものか」は第1節で述べたように相互承接する。

- (35) 落第なんかしてたまるものか。

本稿で議論したことを踏まえてこの二形式を承接順に並べると、先

にも述べたが「動詞テたまるか→ものか」となる。「たまる」の語源は「こらえる。がまんする。」(『大辞林』)という動詞から発していること、また、(35)の文を話し手の発話の含みまで解釈すると、「落第なんかしてたまるか(いや、たまらない)」となり、実は「たまるか」は活用することがわかる。動詞の実質的概念が希薄になり、形式的な形態になっているという意味で、動詞から発した助動詞相当語句といえよう。次に「ものか」であるが、助動詞相当語句「ものだ」の疑問形に由来しており、それが終助詞的に扱われるようになった。以上をまとめると、「たまるか→ものか」は換言すれば「助動詞相当語句→終助詞相当語句」の階層的な並びとなっていると言える。

さて、「たまるものか」はどのような意味機能を有するか。

そこで、「たまるか」「ものか」「たまるものか」の文が引用文に引用句として埋め込まれた場合の引用動詞や、その文脈の中で当該文がどういう状況で発話されたかという後文脈を見てみる。そこから引用句の発語内行為や発話時の話し手の心的状況を知ることができる。用例では、引用助詞「と」がある場合とない場合がある。以下の表1の用例は現代日本語書き言葉均衡コーパス『中納言』からとった。

【表1】

専用形式	引用句の後文脈
たまるか	～と意地を張る、～と怒鳴る、～と眩く、～という敵対心を持って、～と憤慨する、～とたたきつけるように話した、～と釘を刺す、～と腹が立った、～と肩を怒らせて、～という気迫だ、とことん頑張るで！！、～と思った、～とプライドを剥き出しにする、～と死んだら損するぞと言う気迫
ものか	～と怒る、～と叫ぶ、～と憤る、 <u>陽気な気分になっていた</u> 、 <u>～と頬に薄ら笑いを浮かべておれをじろじろ見た</u> 、 <u>～と滑稽で仕様がないうように笑いだした</u> 、～とわめいた、～とどなる、 <u>こう言って得意そうにけらけら笑った</u> 、～と身構える、～という思いあがっ

	<p><u>た態度</u>も見てとれる、～という気持ちだった、歯を食いしばり固く口を閉ざした、王の声音に迷いはない、～と印籠を握りしめたまま、欲しがっているものはわたさない、生きている限り奴らに敵対してやる、～と皮肉な答えをしてから</p>
たまるものか	<p>歯を食いしばり、～と言った、～との気概がある、という威勢のいい若者、～と思った、負けない気で、固い顔つきで、牙をむいて生きてる、懸命に涙をこらえる、彼女は叫ぶ</p>

それぞれの専用形式を文末に持つ引用句の後文脈から次のことがわかる。

- ①「たまるか」文：発語内容も表す。マイナス方向の感情を表す。プラス方面の感情（うれしいとき等）には使わない。
- ②「ものか」文：発語内容も表す。プラス方面の感情（うれしいとき等）も表す。
- ③「たまるものか」文：発語内容も表す。話し手の強い気概がみられる。マイナス方面の感情を表す。

引用動詞を見てみると「～たまるか」「～ものか」の場合が多く見られるが、「～たまるものか」になると引用動詞はあまり見られなかった。このことから、「たまるものか」の解釈は次の(36)(37)のように、文脈に大きく依存すると考えられる。

- (36) おれは今まで誰にも頭などは下げず、誰の世話にもならず
に生きてきたのだ。今更、あんな奴らに頭を下げてたまるものか。
 (富樫倫太郎『陰陽寮 壺』)
- (37) (当然だろうがなかりうが、そうむざむざと殺られてたまるもんか——!) 次郎長は固い顔つきで考え込んだ。

(36) は、点線部分を文脈的根拠とし、実線部分の「今更、あんな奴らに頭を下げる」ということが不本意なことであり、そのことを話

し手は心底から拒否する。つまり、引用動詞で、「意地を張る」「怒る」のように表示しなくても、「たまるものか」文には、既にその強い心情は込められており、それは文脈的支えがあつてのことであるということができるのである。「たまるものか」は命題の絶対的否定或いは絶対的拒絶を表すと言える。(37)は、「たまるものか」文の後文脈(点線部分)から、「そうむざむざと殺られる」ことが不本意であることを考え込んだ様子が、「固い顔つきで」なされたことが表されている。

以上、本節では相互承接した「たまるかよ」「ものかよ」「たまるものか」の意味用法について考察した。

3.5 人名詞+があるか

最後に、反語にしか解釈できない文型として「(人名詞)+があるか」を挙げておく。「人物」なので述語を動詞「いる」にすると、次のように単に存在を表す文となる。

(38) 大竹「どこのコンビニに、背中に赤ん坊しよった店長がいますか。」

ケンヂ「あ…いや、でも、この子は……」

大竹「そんなものが年中いる店で、お客様が気持ちよく買い物できますか」

ケンヂ「そんなものって……」

(浦沢直樹『20世紀少年』)

「背中に赤ん坊しよった店長」というのは目の前の「ケンヂ」のことであるが、「いますか」とすると、その文だけみると、文末上昇イントネーションの疑問文にも解釈できる。

しかし、存在動詞を「あるか」とすると、反語にしか解釈できない。

(39) ところが己たちはわずか七人しかいねえ、明後日あたり、宮沢と中川が来るだろう、それに汐見と木下と服部と、立

花は寝ていやがるな、都合、…指を折りながら変な顔をした。

——馬鹿、自分を忘れる奴があるか、と服部が笑った。

——そうだ、不肖柳井繁雄、キャプテンに選ばれた以上は責任をもってやる。(福永武彦『草の花』)

この文型はもっと厳密にいうと次のように公式化できる。

(40) 〈連体修飾句〉+人名詞+があるか

(40) の人物名詞に該当する語は「奴」「馬鹿」「人」などがあげられる。

(41) [ローラースケートを履いたのび太]

ゴロゴロ

のび太「わ、わ、動き出した。」

ドラえもん「そら、バランスをとって」

ドタ、バリバリ [ふすまを倒す]

ママ「家の中でそんなものにのる人がいますか。」

のび太「おもてのほうがあぶないのにな」

車の人「ばかやろう！ひきころされたいのか。」ブブー

のび太「それみろ」

(藤子F不二雄『ドラえもん』)

上の例 (39) (41) からわかるが、このような人物はいるか、いないか、というように、この文型は目の前の人物を責めたり、叱責したりするときに用いられる。これも一種の反語の専用形式といってもいいだろう。

最後に次の例を挙げておきたい。「ばか」が眼前の人物ではなく、話し手自身を指す文である。

- (42) いつ、頭上から岩石がふってきても、平然と死ぬる工夫をしながら、ひたすらにそのつもりで歩く。岩石を避けず、受けとめず、頭上に来れば平然と迎え、無に帰することができる工夫である。

最初は、襲いかかる岩石を空想し、むしようにこわかった。十五歳から十八歳ごろまでのあいだ、いつでも竜馬の念頭に、この岩石があった。

しかし十八歳になったころ、これがばかばかしくなった。
(自分でつくった岩石に、自分がおびやかされているばかがあるか)

と、やめてしまった。

(司馬遼太郎『竜馬がゆく』)

話し手が自分自身を客観的に俯瞰的にみて、責めたり呆れたりしていると解釈することができる。このような例は、管見では1例しかなかった。

4. まとめ

本稿では、「たまるか」「ものか」「たまるものか」を反語の専用形式として、疑問表現とは混同されないものと考え、考察を行った。それぞれの文法的、意味的特徴は表2にまとめた通りである。

【表2】

反語マーカー	接 続	用法のまとめ
たまるか	①動詞受け身 テ形 ②動詞テ形	①②迷惑, 不本意, 不快なことを話し手が我慢できないために阻止したり, 拒絶したりする。 *マイナス方面の感情を表す。
ものか	①名詞ナ/形/ 形動ナ	①談話内での繰り返し。強い否定的主張を表す。

	②意志動詞ル形 ③無意志動詞ル形	②話し手の強い否定的意志を表す。 ③話し手の強い否定的確信を表す。 *プラス方面の感情も表す
たまるものか	①動詞受け身テ形 ②動詞テ形	①②話し手の強い気概を表す。不本意なことを心底拒否する。 *マイナス方面の感情を表す

加えて、「〈連体修飾句〉＋人名詞＋があるか」という構文で、目の前の人物を責めたり叱ったりするときの反語表現となることも述べた。

しかしながら、反語の専用形式が引用句の述語となった場合の解釈は十分突き詰めたものではなかった。今後は「たまるか」「ものか」「たまるものか」の比較の方法について誰もが納得するような手段を編み出す必要があると思われる。

さらに、「ものか」には感嘆の用法もあり、これは反語と紙一重の用法であるが、どういう場合に感嘆で、どういう場合に反語とみなされるかという条件を明らかにする必要があると思われる。これは別紙に譲る。

〈謝辞〉

本稿は、2012年日本語学会秋季大会（富山大学）の発表資料を大幅に加筆修正したものである。貴重なアドバイスをくださった梅林博人先生、江口正先生、金水敏先生、三宅知宏先生、張麟声先生他諸先生方に深くお礼申し上げます。

〈参考文献〉

安達太郎（1999）『日本語疑問文における判断の諸相』くろしお出版
——（2004）「疑問文における反語解釈をめぐる覚え書き」京都橘女

子大学研究紀要第31号

- 鎌田 修 (2000) 『日本語の引用』 ひつじ書房
グループ・ジャマシイ (1998) 『日本語文型辞典』 くろしお出版
小松光三 (2001) 『日本語文法大辞典』 明治書院
阪倉篤義 (1975) 『文章と表現』 角川書店
泉子・K・メイナード (2005) 『談話表現ハンドブッカー—日本語教育
の現場で使える』 くろしお出版
仁田義雄 (1991) 『日本語のモダリティと人称』 ひつじ書房
日本語教育学会 (2005) 『新版日本語教育事典』 大修館書店
森山卓郎・仁田義男・工藤浩 (2005) 『モダリティ』 岩波書店
山口堯二 (1990) 『日本語疑問表現通史』 明治書院
山口佳也 (2004) 「「ものか」の反語文について」 『十文字学園女子大
学短期大学部研究紀要』 第35集

(大阪府立大学大学院人間社会学研究科 博士後期課程)